

## 癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	Eriburin+Tmab+Pmab
対象疾患	HER2陽性の進行・再発乳癌
1クールの日数	21日
目標コース数	病勢進行が認められるまで

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	ハラヴェン		1.4	mg/m <sup>2</sup>	div	2～5分	d1,8
2	トラスツズマブBS	Tmab	下記参照	mg/kg	div	下記参照	d1
3	パージェタ	Pmab	下記参照	mg/body	div	下記参照	d1
4							
5							
6							
補足	トラスツズマブBS…初回8mg/kgを90分かけて投与。 2回目以降6mg/kg。忍容性あれば30分まで短縮可。 パージェタ…初回840mgを60分かけて投与。 2回目以降420mg。忍容性あれば30分まで短縮可。						

催吐リスク	軽度
前投薬	
減量規定	ハラヴェン：7日間を超えて持続する好中球数減少（500/mm <sup>3</sup> 未満）、発熱又は感染を伴う好中球数減少（1,000/mm <sup>3</sup> 未満）、血小板数減少（25,000/mm <sup>3</sup> 未満）、輸血を要する血小板数減少（50,000/mm <sup>3</sup> 未満）、非血液毒性（Grade3以上）、副作用等により2週目に休薬した場合 減量目安：1段階減量…1.1mg/m <sup>2</sup> 、2段階減量…0.7mg/m <sup>2</sup>
主な副作用	悪心・嘔吐、食欲不振、骨髄抑制、倦怠感、下痢、末梢神経障害、脱毛、関節痛・筋肉痛、浮腫、口内炎、心障害、Infusion reaction
参考文献	適正使用ガイド（ハラヴェン、ハーセプチン、パージェタ） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	ハラヴェン：0.01mg/mL未満の濃度に希釈しない パージェタ：infusion reaction予防のため初回のみ投与前にカロナル錠600mgを内服

投与スケジュール

Day ( 1 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL  1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL パージェタ注  1日1回  初回のみ投与前にカロナール錠600mg内服 投与後60分経過観察 (2回目以降は30分経過観察)	1本 初回840mg 以降420mg	初回60分 以降30分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL トラスツズマブBS注  1日1回	1本 初回8mg/kg 以降6mg/kg	初回90分 以降30分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ハラヴェン注  1日1回	20mL 1.4mg/m <sup>2</sup>	2～5分 (全開)

Day ( 8 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL  1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ハラヴェン注  1日1回	20mL 1.4mg/m <sup>2</sup>	2～5分 (全開)